

事務事業評価表

○基礎情報

課名		社会教育課(小和田公民館)	作成責任者		常勤職員		常勤職員以外			時間外勤務時間	
施策目標	5	自分を見つめ、地域を見つける社会教育と文化財保護を推進する	山田 佳世恵		管理職	左記以外	再任用短時間職員	臨時職員	非常勤嘱託職員	総時間	一人あたり月平均
					1 人	1 人	1 人	3 人	4 人	31 時間	2.6 時間

1 施策指標と実績

施策指標名	第3次実施計画の現状値	目標値(30年度)	実績値			
			25年度	26年度	27年度	28年度
社会教育主催事業・イベントの参加者数	46,223人	49,000人	46,107人	47,107人	48,593人	48,282人
文化財の指定件数	41件	47件	42件	43件	45件	43件

- (評価の見方)
- ・ S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった
 - ・ A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
 - ・ B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
 - ・ C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
 - ・ D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
 - ・ E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
 - ・ Z 未着手事業
 - ・ 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった

2 事業実績(平成28年度)

No.	事務事業名	事務事業の目的・目指すべき成果	事業の性質	実績			従事者数	会計区分	H28予算 H28決算 (単位:円)	事務事業の指標名	H28目標値	H28実績値	評価	H28業棚選定
		何を・誰を(対象)、どうやって働きかけ(手段)、どうしたいか(生まれる成果)		業務計画	広域連携	行革重点								
1	家庭教育支援関連事業	市民の学習活動の活性化を図り、家庭教育支援を推進する。	定例・定型的事業				0.39	一般	202,000 ----- 192,100	開催事業数(年間)	4回	6事業(1367人)	S	
2	子ども事業	公民館で活動するサークルや団体、ボランティアの協力を得ながら、子どもや親子を対象に体験学習を実施し、地域のふれあいや仲間作りを促進する。	定例・定型的事業				0.81	一般	200,000 ----- 190,000	開催事業数(年間)	11回	14事業(1174人)	S	
3	社会的要請課題をテーマとした事業	様々な現代社会における課題の解決に向けて、学習の場を提供し、学習活動の活性化を図る。	定例・定型的事業				0.59	一般	135,000 ----- 130,700	実施事業数(年間)	8事業	9事業(360人)	S	
4	学習情報の提供	講座等の公民館事業など、地域や学習者のニーズに応じた情報の提供を行う。	定例・定型的事業				0.18	一般	15,000 ----- 15,000	情報誌の発行回数(年間)	6回	7回(情報紙こわだ、公民館だより合計3000部)	S	
5	学習成果の還元事業	学習成果を生かす機会や発表と交流の場を提供する。	定例・定型的事業				0.69	一般	240,000 ----- 230,000	事業数(年間)	3事業	3事業(6520人)	S	
6	公民館ふれあい事業	学習の機会を提供し、参加しやすい事業を通じて市民の学習活動とコミュニケーションを図り、仲間づくりやサークル化を目指す。	定例・定型的事業				0.52	一般	70,000 ----- 68,000	開催事業数(年間)	4事業	5事業(134人)	S	

7	次世代育成ネットワーク事業	地域の教育機関や団体と連携し、次世代の育成を図る。	定例・定型的事業				0.10	一般	0 ----- 0	連携する事業数(年間)	2事業	1事業(中学生ボランティア91人)	A	
8	地域交流事業	地域交流の場を提供し、文化の伝承と地域交流、ふれあいの場を提供する。	定例・定型的事業				0.49	一般	265,000 ----- 263,400	開催事業数(年間)	3事業	4事業(1029人)	S	
9	公民館運営審議会	各種事業の企画・実施について、調査・審議を行う。	定例・定型的事業				0.16	一般	315,000 ----- 314,200	運営審議会の開催回数(定例会)	4回	4回	S	
10	公民館利用者活動支援事業	社会教育施設である公民館を運営するための業務管理を行う。	定例・定型的事業				1.61	一般	8,261,000 ----- 8,196,694	利用件数(年間)	4500件	3680件(59027人)	A	
11	施設維持管理	公民館施設の維持管理を行う。	定例・定型的事業				0.24	一般	9,247,000 ----- 9,172,675	開館日数(年間)	306日	306日	S	
12	施設保守点検	施設設備の保守点検を委託する。	定例・定型的事業				0.21	一般	0 ----- 0	保守点検実施回数	1～4回	4回	S	
13	災害応急対策活動	-	定例・定型的事業				0.07	一般	0 ----- 0	-	-	-		
14	庁内共通業務	-	定例・定型的事業				0.08	一般	0 ----- 0	-	-	-		
合計							6.14	予算 決算 繰越	18,950,000 ----- 18,772,769 ----- -					

3 実施計画事業の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析	
<p>< 5 公民館の取組と成果 > 平成28年度は、5公民館連携の庁内説明会、公民館ウィークの本庁舎での開催など、公民館事業の紹介をきっかけに、公民館のロビーを活用したホノルルウィーク展、環境展、消費生活展、デートDV防止啓発展、その他、市立病院との連携事業の開催など、庁内各課と連携事業を実施し、一定の成果があったと考えている。</p> <p>< 小和田公民館の取組と成果 > 小和田公民館の事務事業、12事業のうち、A評価が2事業、S評価が10事業となっている。 A評価の「次世代ネットワーク事業」については、次世代を育成するためのボランティア事業を位置づけ、小学生を対象とした「おもしろいっぱい遊び空間」(28年度実績 参加者460名)の開催時には、中学校ボランティア(28年度実績91名)を募り、松浪中学生、浜須賀中学校の生徒が小学生に工作等を教える事業協力を通じて、次世代交流と次世代育成の貴重な機会となっている。事業数は目標に及ばなかったが、多くのボランティアの参加により事業を実施でき、事業成果は上がっているものと考えA評価とした。また、「公民館利用者活動支援事業」については、利用者数が目標値の82%となっており目標値を超えていないが、ロビー利用者を除く会議室利用者数(59,027人)は、地域の活動拠点としてのニーズを満たしていると考えている。参加者アンケートにおいて満足度の設問を実施した自主事業は、いずれの講座も「とても満足した」「満足した」が9割を超え、事業への満足度は高い結果となっている。 平成27年4月の松浪コミュニティセンターの開館に伴い、地域の活動拠点が増えたことで、小和田公民館の利用者数は減少しているものの、5館の中でも利用者数が一番多い状況であり、目標値には達していないが、一定の成果を果たしているとし、A評価とした。</p> <p>公民館が取り組んでいるテーマごとの事務事業は、地域の活性化に寄与している松浪コミュニティセンターと問題意識が重なることも多く、引き続き地域課題の共有を行うとともに、課題の解決に向けて連携していくことの必要性が増していると考えている。公民館においては、社会教育の拠点施設として、地域課題の解決に向けた学習機会の提供、人材の育成等を踏まえた事業展開を積極的に行うとともに、日々の生活に密着した身近な施設として、今後も利用者の声を聴きながら事業の企画・展開をし、質的向上を図っていく必要がある。</p>	

4 平成28年度業務棚卸評価における改善の取組結果

No.	事務事業名	取り組みの結果
2	子ども事業	平成28年度は、5公民館の地域での事業展開のノウハウと年間のべ23万人以上の利用がある強みを全庁的な事業に活用してもらうための取り組みとして、公民館事業に関する庁内説明会を実施するとともに、公民館ウィークを本庁舎ふれあいプラザで実施し、公民館の事業説明や理解の機会を持った。その結果、子ども事業では、男女共同参画課の依頼により、「デートDV防止」に係るパネルを5公民館で巡回展示し、若年層の利用が最も多いロビーにおいて貴重な啓発の機会となった。これまでも毎年実施してきた「環境展」に加え、昨年度は、姉妹都市締結に係るホノルルウィーク展、消費生活展等、将来を担う子ども達への啓発に係る全庁的な事業について、5公民館が連携して協力できたことは事業の改善につながったものとする。また、学校教育指導課が主催した小学生を対象としたお弁当プロジェクトでは、子ども達がレポート提出、調理審査の事前練習等に地域の公民館の実習室を活用し、庁内発信の事業に、新しい実施形態として協力できたことも成果のひとつとしてあげられる。

5 新たな行政改革重点推進事業(本項目に記載した場合、別途行革重点推進事業管理表を作成していただきます)

No.	事務事業名	重点事項名	取り組みの概要
1	該当なし	-	-